

単元名 【旧】あしたへ ジャンプ

配当時間 27 時間

- 単元の目標 (1) 大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた多くの人々がいることに気付くことができる。
- (2) 工夫して自分の成長を振り返るとともに、分かったことや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを作品などで、表現して伝えることができる。
- (3) 2年生になってからの1年間や、1年生や幼保の頃の自分について振り返り、印象に残ったこととや心に残っていることを発表し合い、自分の成長を自覚するとともに、これからも意欲と希望をもって生活しようとする。

標準的な展開例

02060302_001

【準備等】これまでの学習での作品類、これまでの記録カード、これまでの学校生活の写真、記録カード、画用紙等

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 入学してからこれまでにあったことを、クラス全体で振り返る。</p> <p>★2年間を振り返ろう</p> <p>○2年間の出来事を思い出して発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てました。おいしい野菜が獲れました。 ・みんなで力を合わせて運動会をがんばりました。 <p>2 学習面、生活面、精神面（自分のよさ、可能性）について振り返り、自分ができるようになったことをたくさん見つけ、カードにかく。</p> <p>★自分ができるようになったことを見つけよう</p> <p>○自分ができるようになったことをカードにかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なわとびで二重とびができるようになりました。 ・かけ算九九を全部言えるようになりました。 ・毎日忘れずに野菜の世話をすることができるようになりました。 ・くつ洗いのお手伝いを続けています。 ・毎日、しっかり掃除ができるようになりました。 <p>3 自分ができるようになったことを、友達と伝え合う。</p> <p>★自分ができるようになったことを紹介しよう</p> <p>○自分ができるようになったことを伝え合う。</p> <p>○感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくもかけ算九九を全部言えるようになりました。毎日みんなで練習しました。 ・二重跳びができてすごいですね。交差跳びもクラスで一番たくさん跳べていて、すごかったです。 ・わたしは皿洗いのお手伝いを続けています。 <p>4 友達とのかかわりを振り返り、友達のすてきなところを見つけ、カードにかいて渡し合う。</p> <p>★友達のすてきなところを伝えよう</p> <p>○友達に「ありがとうカード」や「すごいねカード」をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも生き物係の仕事を忘れずにやっていますすごいです。わたしも係の仕事をがんばります。 ・ミニトマトの脇芽が分からなかったときに、教えてくれてありがとう。ミニトマトがたくさんできました。 ・背の高い竹馬に乗れてすごいですね。わたしも乗れるようになりたいので、教えてください。 ・休み時間に遊びに誘ってくれてありがとう。また一緒に遊びましょう。 <p>○友達にカードを渡す。</p> <p>5 お世話になった人や家の人などに、自分の成長について</p>	<p>・児童が共通で体験している、入学してから2年間のことを振り返らせる。</p> <p>・これまでの記録カードや作品、学校行事や学習、生活場面の写真などを、時系列に沿って掲示するなど、振り返りのための具体的な手がかりを工夫するとよい。</p> <p>・学習面は学習の自立、生活面は生活上の自立、精神面は精神的な自立といった生活科がねらう3つの自立に関する内容である。</p> <p>・カードにかく方法以外にも、できるようになったことをイメージマップに表し、見つけた自分の成長を、次々にかき加えていく方法も考えられる。</p> <p>・1枚のカードにつき一つずつ、できるようになったことをかかせる。</p> <p>・教科書P.90, P.92～93の挿絵と写真や、児童が自己成就感や達成感をもったときの記録カードなどを手がかりに考えさせる。</p> <p>・入学してから新たに挑戦したことや、今でも取り組んでいることも考えさせる。</p> <p>【評】カードへの表現を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・前時にかいたカードを見せながら、伝え合うようにさせる。</p> <p>・友達のできるようになったことと自分のできるようになったことの、似ているところと違うところに気付かせるとともに、互いの良さを認め合うように指導する。</p> <p>・友達のできるようになったことを聞き、「他にも○○ができていました」と伝えている児童を取り上げ、次時につなげる。</p> <p>【評】伝え合う活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・朝の会や帰りの会、各教科等の機会を使い、日常的に友達のよいところを伝え合う経験を積みさせておくことよい。</p> <p>・教科書P.94のカードを紹介して、友達に支えてもらったことに対する感謝の気持ちや、友達をすごいと思う気持ちをかくように声がけをする。</p> <p>・ペアを組んで互いのカードをかかせたり、グループ内で全員にかかせたりするなど、全員がカードをもらえるように配慮する。</p> <p>・友達の優しさや、他者への思いやりなど、内面的な成長に気付いている児童を取り上げ、全体に広げる。</p> <p>・渡す際に、カードにかいた出来事について話をさせる。もらった児童にも、感想などを話すようにさせ、互いの成長を喜び合えるようにする。</p> <p>【評】カードへの表現や伝え合う活動から「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・インタビューが困難な事情のある児童に配慮</p>

インタビューする。

★昔の自分のことをインタビューして調べよう

○昔の自分のことを知っている人に、自分のことをインタビューする。

6 小さかった頃の自分と今の自分を比較して、自分の成長について考えて、発表する。

★小さかった頃と今の自分を比べよう

○小さい頃と今の自分を比較して、できるようになったことや役割が増えたことを発表する。

- ・6年生に掃除を手伝ってもらっていました。やり方を教えてもらって、今は自分たちでできるようになりました。
- ・逆上がりができるようになりました。休みの日は、お父さんと一緒に練習をしました。
- ・弟の面倒をみてあげています。前より弟に優しくなったと、褒められました。
- ・保育園のときは人参が嫌いで残していましたが、少しずつ食べられるようになりました。

7 自分の成長について、どんな出来事を、どのような方法でまとめるかを考える。

★大きくなった自分のことを作品にまとめる計画を立てよう

○まとめる方法を出し合う。

- ・新聞
- ・絵本
- ・ランキング
- ・巻物
- ・すごろく 等

○自分の成長を表す出来事と、まとめる方法を決めて発表する。

- ・2年間でできるようになったことを、すごろくにしてまとめたいです。
- ・できるようになったことをランキングにしたいです。1位は、竹馬に乗れるようになったことをかきたいです。
- ・キュウリが食べられるようになったことがすごく嬉しかったので、キュウリを育てて好きになったことを新聞にしたいです。

8～13 表し方を工夫しながら、自分の成長を表す出来事を作品にまとめる。

★大きくなった自分のことを作品にまとめよう

○自分の成長を表す出来事を、作品にまとめる。

14, 15 作品を見せ合いながら、大きくなった自分のことを伝え合う。

★自分の成長を伝え合おう

○作品を見せ合い、質問をしたり、感想を伝え合ったりする。

- ・竹馬の乗り方は、誰が教えてくれたのですか。
- ・いろいろな人にお世話になって大きくなってきたのですね。

し、一人一人に応じた支援をする。

- ・家の人、幼稚園や保育所等の先生にインタビューを行う際には、事前に概要や趣旨を連絡し、協力を依頼しておく。
- ・学校の実態に応じて園児との交流活動を行い自分の小さかった頃に関心をもたせるようにするとよい。

- ・役割やできることが増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、児童の内面的な成長を称賛してもらうように依頼しておく。
- ・自分ができるようになったことをかいたカードや、インタビューしたことを振り返って考えさせる。

- ・児童の発表を受けて、教師が「誰に教えてもらいましたか」と問いかけることで、支えてくれた人の存在に気付かせる。
- ・友達に思いやりの心がもてるようになった、我慢することができるようになったなど、内面的な成長にも目を向けることができるように声がけをする。
- ・幼いころに使っていたものなどを持ち寄らせると伝え合いが活発になるが、児童の家庭環境に十分配慮し、全員が必ず何かをもってこなければならないような展開は避けるように留意する。

【評】発表する活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。

- ・自分ができるようになったことや、役割が増えたことの中から、自分の成長を表す出来事を選んで、作品にまとめさせる。

- ・教科書P.96,97を見せたり、これまでに作品にまとめた経験を想起させたりして、作品のイメージをもたせる。

- ・まとめる方法（新聞・絵本など）や分量は、児童の思い、資料の内容・量などに応じて、多様であってよい。
- ・あらかじめ製作活動に使える時間を伝えておき、時間の中で完成できるように指導する。

【評】作品にまとめる計画を立てる活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・家庭から、昔の写真や品物などをもってきたいという児童の思いは認めるが、児童の一人一人の家庭環境に十分配慮し、必ず全員が何かをもってこなければならないような展開は避けるように留意する。

- ・作品をつくりながら交流し、友達の反応などを参考にして、さらに工夫できるような、ゆとりをもった時間設定を心がける。
- ・製作途中で行き詰ってしまう児童が出てきた場合は、中間発表の時間をとり、工夫した点を伝え合い、友達のよいところを自分の作品にも取り入れるように促すとよい。

【評】作品にまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・作品が見えるように、少人数のグループで発表させる。

- ・自分たちの成長を支えてくれた人の存在に気付いている児童のつぶやきを取り上げて、全体に広げ、次時以降の「ありがとう発表会」を開く活動へつなげるようにする。

【評】伝え合う活動を通して「知識・技能」を評価する。

- 16 「ありがとう発表会」を開く計画を立てる。
 ★「ありがとう発表会」を開く計画を立てよう
 ○お世話になった人を伝え合い、招待する人を決める。
- 自分が発表したいことを伝え合う。
 ・野菜名人の〇〇さんに教えてもらっておいしい野菜が
 つくれたことを発表したいです。
 ・運動会でみんなで踊って成功したことを発表したいで
 す。
 ・鉄棒で逆上がりができるようになったことを発表した
 いです。
- 発表の方法を伝え合う。
 ・つくった新聞を見せながら、野菜の収穫までのことを
 伝えたいです。
 ・運動会で踊った踊りをみんなで踊りたいです。
 ・逆上がりを見せたいです。
- 17～20 発表の方法を工夫して、準備や練習をしたり、招待
 状を出したりする。
 ★「ありがとう発表会」を開く準備をしよう
 ○招待状をかく。
- 作業や発表の役割分担をして、準備や練習をする。
- 発表会のリハーサルをする。
- 21～23 「ありがとう発表会」を開いて、感謝の気持ちを伝
 える。
 ★「ありがとう発表会」を開こう
 ○計画に沿って「ありがとう発表会」を開き、自分たちの
 成長した姿を見せる。
 ○招待した人から、感想を聞いたり、メッセージをもらっ
 たりする。
- 24 「ありがとう発表会」をしたことを振り返り、嬉しかつ
 たことや気付いたことを記録カードにかいて、伝え合う。
 ★「ありがとう発表会」を振り返ろう
 ○「ありがとう発表会」をしたことを振り返り、嬉しかつ
 たことや気付いたことを記録カードにかく。
 ・〇〇さんに教えてもらった野菜のことを発表したら、
 「これから困ったときには何でも聞きに来ていいで
 すよ」と言ってもらえました。嬉しかったです。
 ・わたしのできるようになることが増えると、お母さん
 は嬉しいと言っていました。もっとできることを増や
 したいです。
- 25 見たり聞いたりして3年生の生活や学習について知る。
- 3年生の学校生活について知っていることを伝え合う。
 ・生活科の勉強がなくなって、理科と社会の勉強が始ま
 ります。
 ・音楽でリコーダーの吹き方を習うそうです。
- ★3年生の教室に行って確かめよう
 ○3年生の授業を見たり、インタビューしたりする。
- 26 3年生になったらしてみたいこと、がんばりたいことな
 どを、記録カードにかいて伝え合う。
 ★3年生でしてみたいことを伝え合おう
 ○3年生になったらしてみたいこと、がんばりたいことな
 どを、記録カードにかく。
 ・お姉さんみたいにリコーダーを上手に吹けるようにな

- ・家族、幼稚園や保育所等の先生、地域の人な
 ど、招待する人を考える過程で、改めて自分
 たちの成長を支えてくれた人々の存在に気付
 かせる。
 - ・学級全体でお世話になった野菜名人や交通指
 導員など、全員で感謝の気持ちを伝えられる
 人への思いも意識させる。
 - ・自分たちの成長した姿を見てもらうことが、
 感謝の気持ちを伝えることになることに気付
 かせる。
- ・作品を使った発表の他にも、実演する方法も
 認める。
- ・児童の思いに沿って、個人で発表する、グル
 ープで発表する、学級全体で発表するなど、
 様々な発表形態を取り入れる。
- ・招待する人には、教師が事前に連絡をしてお
 く。
- ・教科書P. 98の招待状の例を参考に、発表会
 のお知らせとともに、お世話になった人への感
 謝の気持ちをかくようにさせる。
- ・プログラムを作成したり、招待した人に見て
 もらえるように、大きくなった自分のことを
 まとめた作品を教室に掲示したりする。
- ・教科書P. 115の「べんりてちょう」を活用し
 て、発表するときと聞くときのマナーを確認
 する。
- 【評】準備や練習を通して「思考・判断・表現
 」「主体的に学習に取り組む態度」を評価す
 る。
- ・計画に沿って発表会を開き、自分たちの成長
 した姿を見せる。
 - ・児童を支えることの楽しさや喜び、これから
 も児童を支えていきたいという思いなどを話
 してもらうように依頼しておくとい。
- ・自分たちの成長した姿を見て、招待した人が
 喜んでくれたことを想起させる。
- ・たくさんの人が自分の成長を支えてくれてい
 ることの喜びや、これからの成長への思いを
 表現している児童を取り上げて全体に広げ、
 自信と意欲をもって生活できるように支援す
 る。
- 【評】記録カードへの表現を通して「知識・技
 能」を評価する。
- ・前時のこれからもできることを増やしたい
 という児童の思いを本時につなげる。
 - ・周辺の季節の移り変わりや卒業式の準備など
 暮らしの中に見られる変化と合わせて、進級
 の喜びを感じとらせる。
 - ・教科書P. 100の写真も参考にして、3年生の
 生活や学習のイメージをもたせる。
 - ・3年生の担任と連絡を取り合い、休み時間な
 ども活用して実施してもよい。
 - ・3年生で使う教科書やリコーダー、習字セッ
 トなどを見せてもらうように依頼しておく
 よい。
- ・3年生から始まる新しいことだけではなく、
 今までやってきたことを継続して、さらに高
 い目標に向かってがんばってもよいことを伝

<p>りたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字が丁寧にかけるようになったので、習字でも上手にかけるようになりたいです。 ・朝のごみ出しのお手伝いを続けたいです。そして、もう一つ新しいお手伝いにチャレンジしたいです。 ・毎日休まずに学校に来たいです。 <p>○記録カードにかいたことを、伝え合う。</p> <p>27 近い未来の自分に宛てて、手紙をかく。</p> <p>○3年生以降の自分の成長について考える。</p> <p>★未来の自分に手紙をかこう</p> <p>○がんばりたいことを友達と伝え合い、近い未来の自分に宛てて、手紙をかく。</p>	<p>える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの思いを認め合わせ、3年生に進級するという前向きな雰囲気をつくる。 ・教科書P.102の詩を音読するなどして、3年生の自分だけでなく、その後も成長できる自分に気付かせ、成長への期待を高める。 ・教科書P.101を活用し、手紙をかかせるとうい。 ・児童の思いに応じて、好きな年齢の自分に宛てた手紙をかかせる。 ・上級生や保護者、お世話になった人など、大きくなったらこんな人になりたいという思いをかかせてもよい。 <p>【評】手紙をかく活動を通して「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	---

【 備 考 】